

幼稚園番号	1276468
園名	葛西めぐみこども園

# すくわくプログラム活動報告書

## テーマ 「音あそび・劇あそび」

### 1. テーマの設定理由

1歳児クラス・2歳児クラスを対象として、ふれあい遊びや歌・楽器あそびを通じて保育者や友達と楽しさを共有しながら、表現力を高めました。また絵本読み聞かせを行い子どもそれぞれが物語のイメージを膨らませて、絵本の登場キャラクターになりきって劇あそびとして発表会を行いました。

### 2. 活動スケジュール

5月	わらべ歌やふれあい遊びを楽しむ。 専門講師による指導の元、わらべ歌などのふれあい遊びを通じて表現遊びを楽しむ。
6月	①わらべ歌に小打楽器を用いて音を楽しむ。 様々な楽器に出会い、自ら音を出し音で遊ぶ体験を楽しみながら表現する。
7月	②わらべ歌に小打楽器を用いて音を楽しむ。 主体的探索。様々な楽器に出会い、自ら音を出し、音で遊ぶ体験を楽しむ。季節のわらべ歌「カミナリの音」を楽器で表現して楽しむ
9月	絵本との出会い、絵本の世界を楽しんでいく。 絵本の中の動きや言葉を真似して楽しむ。
10月	絵本の世界を楽しんでいく。絵本の場面やキャラクターに親しみ、キャラクターになりきって遊ぶ。
11月	絵本のストーリーの効果音づくり、専門講師の指導を得ながら、音・素材への関心を広げる。手作り楽器に興味を示す。
12月	簡単なストーリーの構成ごっこ。 お話の流れを、遊びながら体得していく。子どもたちから出た言葉をセリフに拾っていく。場面の効果音の探求をしていく。 パソコンで録画をとって子ども達と見合う。
1月	衣装・小道具づくり、ストーリーの場面に合った効果音を入れてみる。 オペレッタ風に、配役を決め、自分の役に愛着を持つ、必要な小道具などの準備を楽しむ・大きくなったね会の予行練習を3回程実施し舞台上に慣れていく・PCでの録画に効果音を入れて子ども達と見合い完成させていく。
2月	大きくなったね会の本番発表。 これまでの楽しんできた過程を大切にしながら表現する。家族に見てもらおう事を楽しみにしながら、ストーリーの役になりきり表現を楽しむ。
3月	大きくなったね会の余韻を味わい、自信に繋げていく。 発表会の再現遊び、違う役になってみたり主体的に表現遊びを楽しんでいく。・幼児組のお兄さん、お姉さんにお客さんになってもらいお披露目会をする。

### 3. 探究活動の実践（活動の内容について）

#### 〈活動のために準備した素材や道具〉

お手玉、木の棒、バスタオル、フィンガーシンバル、タンバリン、でんでん太鼓、レインスティック、鈴、オーガンジーの布、布製の魚、パラバルーン、ツリーチャイム、サンダードラム、ウッドブロック、木魚、マレット付タンバリンドラム、ロリポップドラム、エッグシェイカー、カスタネット、絵本、パソコン、鉄琴、ミュージックポンプなど。

#### 〈環境の設定〉

- ・楽器を鳴らすときにリズムを取りやすくするため、お手玉を用いてリズムを取る練習をした。
- ・保育室のレイアウトを変えたり保育室以外の部屋で音あそびをするなど、「いつもと違う場所」での活動を体感した。
- ・発表会で歌う歌や劇あそびのタイトルとなる絵本を、あそびながら慣れる事ができるよう通常保育の中にも取り入れた。

#### 〈活動中のこどもの姿・声、こども同士や教諭との関わり〉

- ・様々な楽器を目の前にすると、こども達は積極的に楽器に手を伸ばし興味をもっていった。
- ・音あそび専門講師や保育者が楽器遊びのお手本を見せると、「やりたい」とこども達から駆け寄り、保育者の膝に自ら座ったり顔を見合わせたりと、活動に意欲的な姿が見られた。
- ・スキンシップをしながらふれあい遊びをすると、こども達も表情が和らぎ安心した様子で活動していた。
- ・こども達が「一緒にやろう」と声をかけあい、自然と保育者だけでなく友達同士での遊びに発展していた。



#### 4. 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

発表会では慣れない光景にびっくりして泣いてしまったことも居たが最後まで演目をやり遂げ、子ども達の成長を実感した。また、自分の楽器をお友達に貸したり、順番を譲ってあげるなどの様子も見られるようになった。音あそび・劇あそびを通して表現する楽しさとともに他者への思いやりも育まれたのだと感じ、有意義な活動だったと思った。